

山地先生の授業からの学び

本年度最初の授業研究会。山地先生、子どもたちの笑顔が輝いた充実の1時間でした。授業内容は、逆数について。写真は、ある子が逆数について分母と分子の関係について、イラストを使いながら説明をしています。この発言により、子どもたちの「逆数」についての理解がさらに深まりました。この子の発言の後に山地先生は、「〇〇くんの説明、言える？隣の人に伝えてみよう」と「評言」をかけられました。教師が再度説明をするでも、分かる子に言わせるでもなく、全員に表現する場面をとられました。このことにより、学級全体の子どもたちの理解度が深まっていきました。

協議会でも、この場面が話題になりました。山地先生の中に、「ここはおさせたい」「授業のポイント」と思われていたからこそ、出てきた「評言」だったのだと思います。授業は子ども相手なので、予想しておくのが難しい面もありますが、しっかりと教材研究や授業準備をされていたからこそ、「ここぞ」という時に出てきた言葉だったのだと思います。改めて、授業準備の大切さや、「この時間で子どもたちは何ができたらいいいのか」などを明確にして授業を行う大切さを感じました。

協議会も活発に意見を出していただき、考えを深め、授業観を磨く時間となりました。みなさん、本当にありがとうございました。



倅せな一枚

協議会後、山地先生の周りに1~3年目の先生方が集い、協議会の延長戦がスタートしました。この姿、本当にうれしかったです。そして、なんだか「倅せな」気持ちになりました。山地先生の授業やお姿が、後輩の先生方の心を動かし、さらに「訊きたい」と課題意識を持って学びに行かれること。後ろ姿ですが、どの先生も「明日の授業」にワクワクしているのが伝わってきて、ステキだなあと写真に。

自然に延長戦が起る。この事実からも、それだけ授業がステキだったことが伝わるといいます。



6月19日(木)の三校合同研修会~6年1組大屋先生~

【タイムテーブル】

4校時 会場準備 (6年1組の子たちが、机や椅子を教室から体育館へ運びます。給食は、家庭科室で食べます。)

5校時 13:30~14:15 ※「探究部」の先生方は参加。「ひょうげん部」の先生方も、可能な範囲で参加。自習を中学生が見守ってくれる予定です。授業終了後(5校時)は子どもたちを帰宅させ、協議会に間に合うようによろしくお願いします。

協議会 14:30~16:00

協議の柱

- ・授業や単元デザインが、子どもたちにとって自分事の学びとなっていたか
- ・自分の学校や学年の実践にいかしたいのは、どのような点か